

# Works02

課題テーマ  
二世帯住宅（1年次課題）

## 【課題趣旨】

比較的良好な周辺環境における、二世帯家族間の関係性を考察し空間に置き換える。また、在来軸組構法に対する理解を深めることを目的とする。

## 【コンセプト】

日本の伝統的な家族の姿を尊重した完全同居型プランとする。共有スペースを充実させることで、家族6人が程よい距離感で繋がりを感じられる空間を提案する。また将来の家族構成の変化に対応できる、可変性のある間取りが特徴となっている。（矢嶋克行）



## 01 敷地



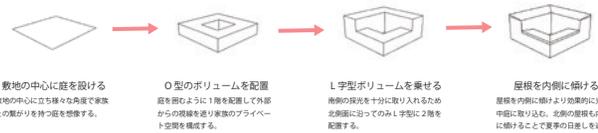
## 02 課題条件

敷地条件  
・敷地面積 420㎡・第1種低層住居専用地域(50/100)・絶対高さ制限10m・高地傾斜なし  
・防火指定なし・難燃敷地区(道路境界線2m、隣地境界線1mの壁面後退)  
クライアントの要望  
・夫婦の今後の暮らし、祖母が専業主婦を続けるためのスペース(住人数3~6名)を設けること。  
・駐車スペース(2台・夫婦用)、玄関付きの駐輪場(4台+普通教習用6台程度)を設けること。

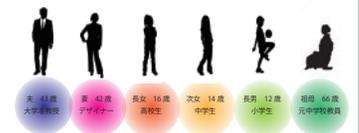
## 03 概要

工場地区	群馬県前橋市緑が丘町	用途地域	第1種低層住居専用地域
各階床面積	1階 146.57㎡ 2階 86.53㎡	延床面積	209.92㎡
建ぺい率	39.44%	容積率	50.01%
建物用途	専用住宅	構造	木造在来軸組工法
建物高さ	7.20m		

## 05 ダイアグラム



## 04 家族構成



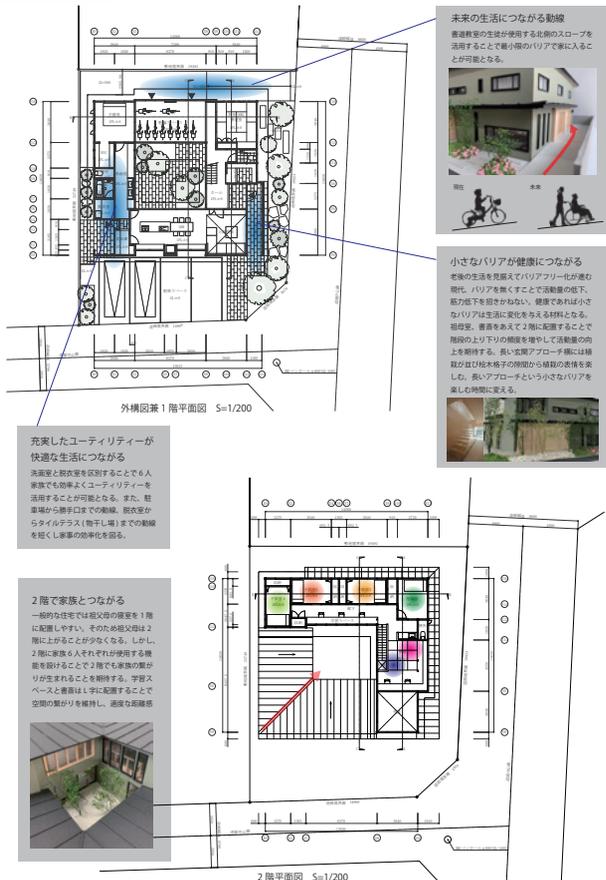
現在の Needs

今回、都内で一人暮らしをしていた祖母(夫の母)がクライアントの両親に同居を提案された経緯がある。そのため、ここでは日本の伝統的な家族の姿を尊重し、完全同居型プランにおいて家族6人が程よい距離感で繋がりを感ずる空間が必要となる。共有スペースを充実させる。共居スペースとして繋がりをもちた家族の暮らしを感じる空間を提案する。

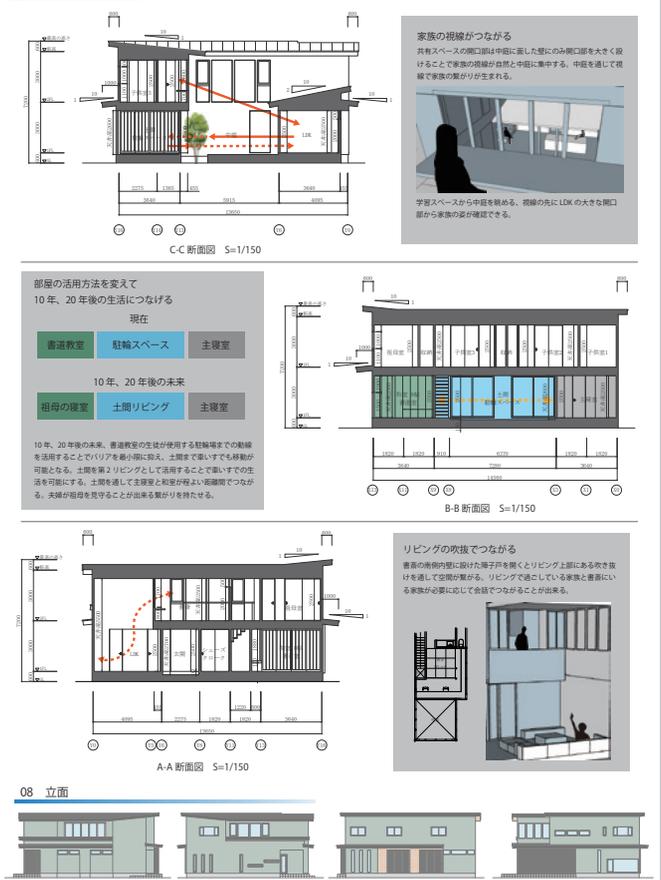
未来の Needs

10年後、20年後の未来、子供は家を出て夫婦と祖母の3人の生活が想像できる。このとき、寝室の使用法を変えることで家族3人が安全で快適な生活を1階に設ける。また、祖母を夫婦が程よい距離で見守りながら生活できる空間を提案する。

## 06 平面プラン



## 07 断面



## 08 立面

